

平成 26 年度 環境モニタリング調査結果（中間結果）

縦断方向の変化（春夏）

（第 8 回荒瀬ダム撤去フォローアップ専門委員会）

下記のページに掲載した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

【掲載ページ】1

1. 動植物調査地点



2. 春季

調査地点	遙拝堰湛水区間		下流流水区間				減水区間	第2流水回復区間		第1流水回復区間	上流水区間
	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤道の駅坂本	⑥葉木	⑦荒瀬ダム 百済木川流入部	⑧与奈久	⑨西鎌瀬	⑩瀬戸石ダム下流	
細胞数	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
付着物量	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
クロロフィル a フェオフィチン	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
底生動物 種数 (流水性)											
魚類 種数											
鳥類 種数											

: 湛水状態の時期

3. 夏季

調査地点	遙拝堰湛水区間	下流流水区間				減水区間	第2流水回復区間			第1流水回復区間	上流流水区間
	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤道の駅坂本	⑥葉木	⑦荒瀬ダム 百済木川流入部	⑧与奈久	⑨西鎌瀬	⑩瀬戸石ダム下流	
附着藻類	細胞数										
	付着物量										
	クロフィル a フェオフィチン										
底生動物	種数 (流水性)										
魚類	種数										
	種数										

: 湛水状態の時期

